

4th UST-USP Joint Symposium



THE UNIVERSITY OF
SHIGA PREFECTURE

フィリピン・マニラ市のセント・トマス大学（UST）と本学（USP）の共催で、広く環境科学および持続可能社会に関するトピックを取り扱い議論します。ふるってご参加ください。

- ◆日程：2021年3月4日（木）－5日（金）
- ◆実施方法：Blackboardによるオンライン
(<https://www.blackboard.com/ja-jp>)

◆プログラム（変更の可能性があります）

Session 1 3月4日（木）

Challenges in science education and research in the new normal

コロナ禍の教育をいかに効果的に行うか、それぞれの経験を共有して議論する。形式は口頭発表（15分）とし、Facebookによるストリーミングを行う。

Session 2 3月5日（金）午前

Multifaceted introduction of Lake Biwa/Country Report

日本の環境や社会を紹介する。サブセッションとして「琵琶湖を多面的に紹介する」を設けている。形式はポスター発表（5分間Short Talkのオンデマンド配信を含む）とする。

Session 3 3月5日（金）午後

Scientific Presentations

環境科学および持続可能な社会に関する広範囲なテーマを取り扱う。口頭発表（15分）もしくはポスター発表（5分間Short Talkのオンデマンド配信を含む）とする。

参加者募集

英文の講演要旨（200word以下、様式はお問合せ下さい）を作成のうえ、2021年2月22日までに事務局（原田英美子、harada.e@ses.usp.ac.jp）宛にメールでお送りください。

Organizing Committee

Symposium Chair: Misako Urabe (urabe@ses.usp.ac.jp)

Takuya Takahashi (tak@ses.usp.ac.jp) Masahiro Maruo (maruo@ses.usp.ac.jp) Secretariat: Emiko Harada

(harada.e@ses.usp.ac.jp)

本シンポジウムは、アジア・フィールド実習
I・II（人間学科目）／国際環境マネジメント
ト（大学院科目）の一環として実施します。

